

2 主要業種の動向

(基準年の生産ウェイト上位8業種の動向(全19業種のウェイト計10,000))

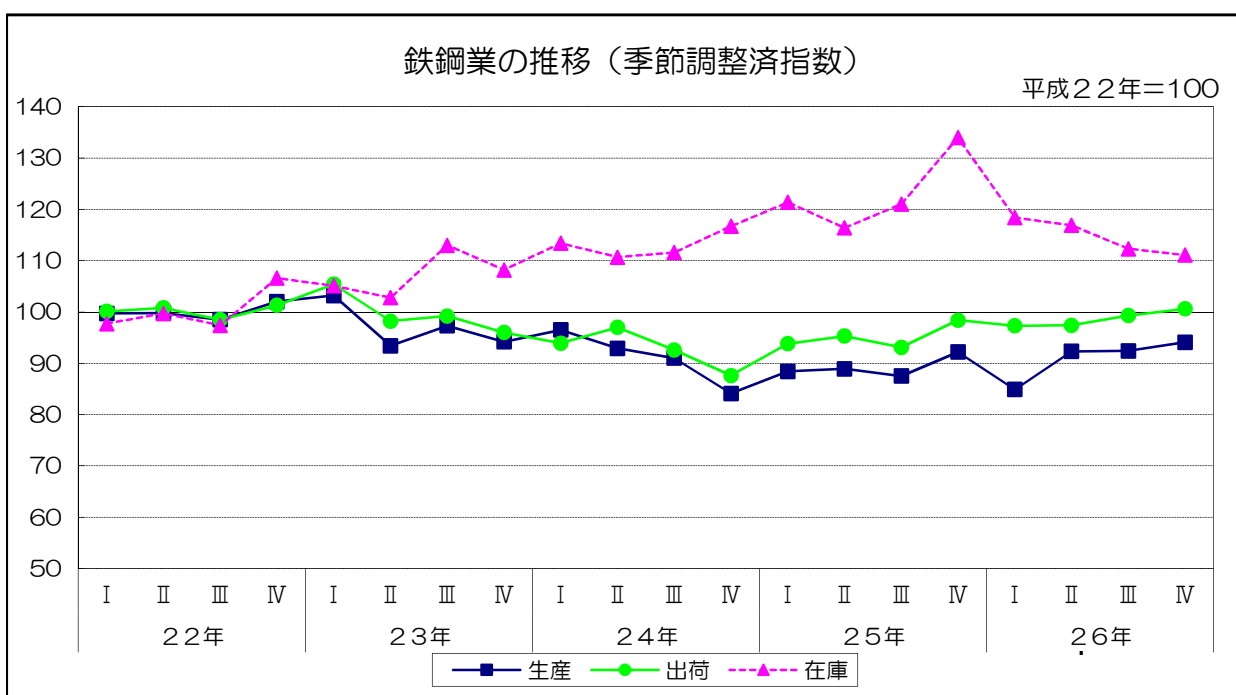
(1) 鉄鋼業

- ① 生産(付加価値額ウェイト770.9 生産19業種中4位)
26年の生産は91.0で、前年比2.1%増と4年ぶりの上昇となった。
これは、銑鉄、鋼半製品などは低下したが、
軌条・外輪、銑鉄鋳物などが上昇したことによる。
- ② 出荷(出荷額ウェイト1093.4 出荷19業種中3位)
26年の出荷は98.5で、同3.7%増と2年連続の増加となった。
これは、特殊鋼熱間圧延鋼材、冷延広幅帯鋼などは低下したが、
軌条・外輪、鋼板などが上昇したことによる。
- ③ 在庫(在庫額ウェイト1948.0 在庫19業種中1位)
26年の在庫は118.6で、同15.4%減と7年ぶりの低下となった。
これは、軌条・外輪、鋼板などは上昇したが、
鋼半製品などが低下したことによる。

鉄鋼業の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年				
						I	II	III	IV
生産	100.0	96.8	91.0	89.1	91.0	84.9	92.3	92.4	94.1
前期(年)比	31.6	▲3.2	▲6.0	▲2.1	2.1	▲7.9	8.7	0.1	1.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.6	5.0	5.9	3.0
出荷	100.0	99.4	93.2	95.0	98.5	97.3	97.4	99.3	100.6
前期(年)比	33.3	▲0.6	▲6.2	1.9	3.7	▲1.1	0.1	2.0	1.3
前年同期比	-	-	-	-	-	2.9	2.7	6.8	2.2
在庫	109.0	111.0	119.8	140.2	118.6	118.4	116.9	112.3	111.1
前期(年)比	7.5	1.8	7.9	17.0	▲15.4	▲11.6	▲1.3	▲3.9	▲1.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.5	▲0.5	▲7.9	▲15.4



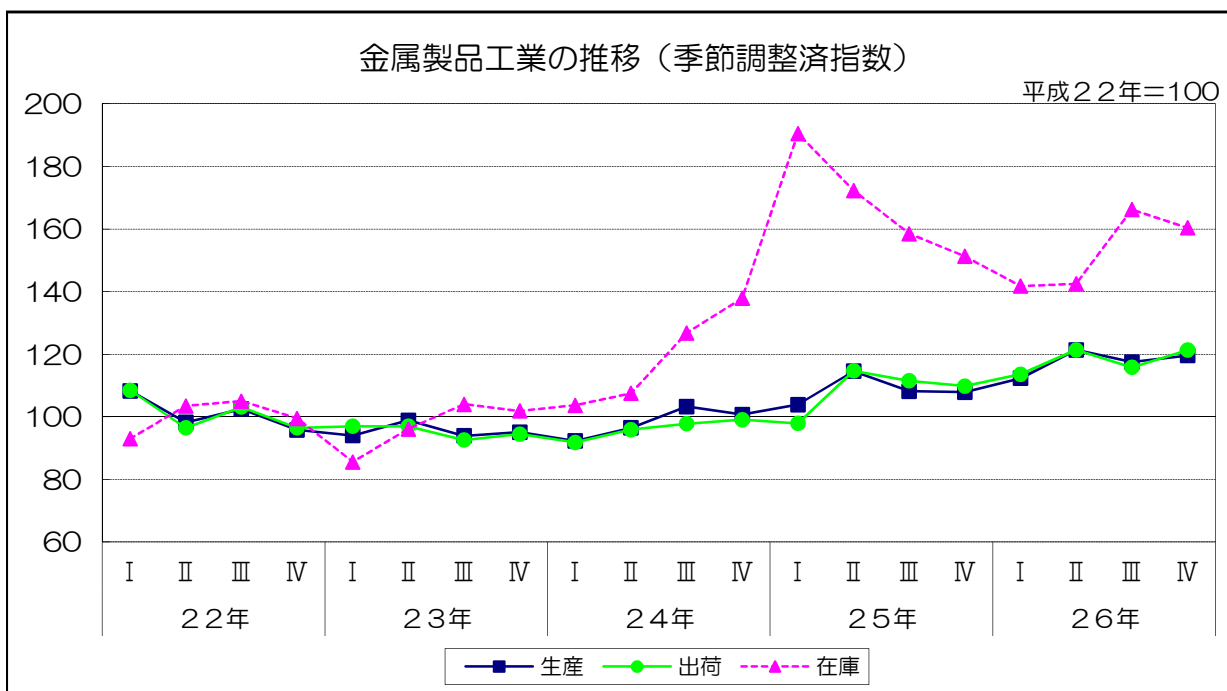
(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト588.7 生産19業種中6位）
26年の生産は117.6で、前年比8.3%増と3年連続の上昇となった。
これは、金網、鉄塔などは低下したが、
飲料用缶、ビル用アルミサッシなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト459.1 出荷19業種中6位）
26年の出荷は117.9で、同8.7%増と3年連続の上昇となった。
これは、金網、鉄塔などは低下したが、
飲料用缶、ビル用アルミサッシなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1073.3 在庫19業種中4位）
26年の在庫は138.6で、同6.3%増と4年連続の上昇となった。
これは、ガス湯沸器は低下したが、
飲料用缶、金網などが上昇したことによる。

金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	100.0	95.0	100.4	108.6	117.6	112.3	121.4	117.5	119.6
前期(年)比	5.2	▲5.0	5.7	8.2	8.3	4.1	8.1	▲3.2	1.8
前年同期比	-	-	-	-	-	8.4	7.9	8.6	8.2
出荷	100.0	94.9	98.2	108.5	117.9	113.6	121.4	115.8	121.3
前期(年)比	2.2	▲5.1	3.5	10.5	8.7	3.5	6.9	▲4.6	4.7
前年同期比	-	-	-	-	-	16.2	7.0	3.4	8.9
在庫	89.7	92.6	125.8	130.4	138.6	141.8	142.5	166.2	160.4
前期(年)比	▲0.4	3.2	35.9	3.7	6.3	▲6.3	0.5	16.6	▲3.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲26.9	▲19.3	8.3	6.3



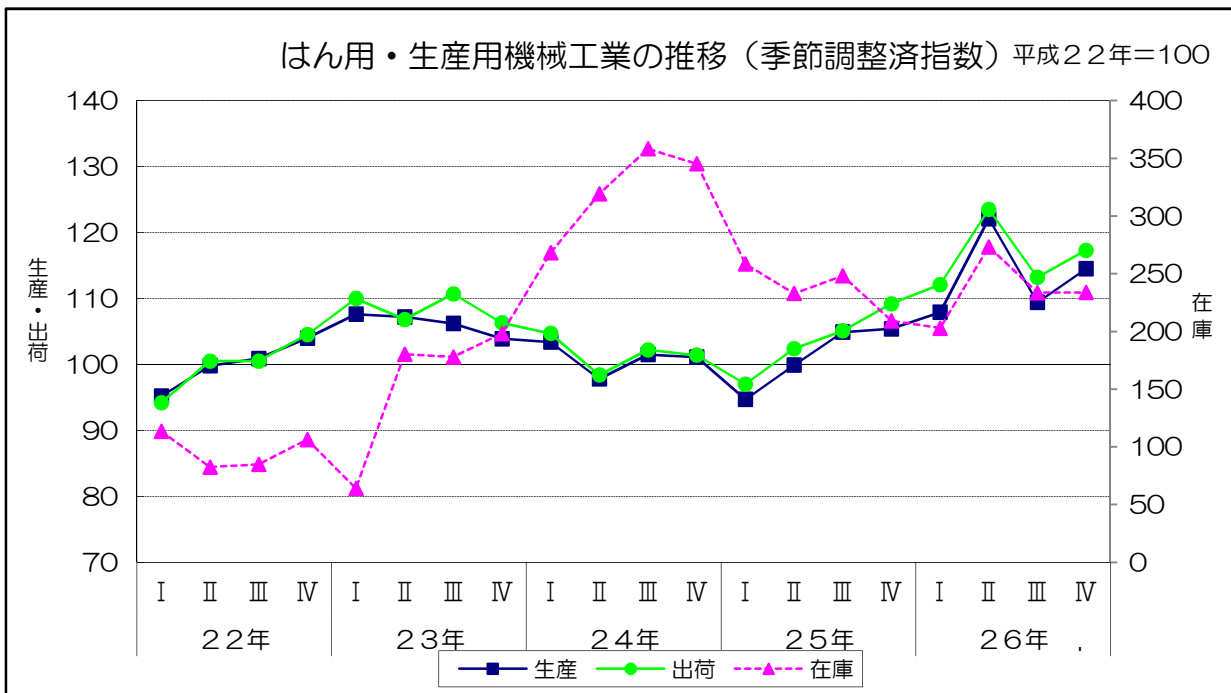
(3) はん用・生産用機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト776.0 生産19業種中3位）
26年の生産は113.0で、前年比12.0%増と2年連続の上昇となった。
これは、クレーン、貯蔵槽などは低下したが、
ショベル系掘削機、バルブ・コックなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト670.8 出荷19業種中4位）
26年の出荷は116.1で、同12.5%増と2年連続の上昇となった。
これは、クレーン、貯蔵槽などは低下したが、
バルブ・コック、ショベル系掘削機などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト667.7 在庫19業種中6位）
26年の在庫は231.8で、同11.3%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、電気ホイス、ファンコイルユニットなどは低下したが、
ショベル系掘削機、ポンプが上昇したことによる。

はん用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	26年			
						I	II	III	IV
生産	100.0	106.1	100.7	100.9	113.0	107.9	122.1	109.4	114.5
前期(年)比	15.6	6.1	▲5.1	0.2	12.0	2.4	13.2	▲10.4	4.7
前年同期比	-	-	-	-	-	12.2	25.3	4.2	8.2
出荷	100.0	108.4	101.5	103.2	116.1	112.1	123.5	113.2	117.3
前期(年)比	18.6	8.4	▲6.4	1.7	12.5	2.7	10.2	▲8.3	3.6
前年同期比	-	-	-	-	-	14.1	22.6	7.4	7.3
在庫	105.8	193.2	330.6	208.2	231.8	202.9	273.3	233.6	233.8
前期(年)比	▲36.2	82.6	71.1	▲37.0	11.3	▲3.0	34.7	▲14.5	0.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲25.3	20.6	▲2.7	11.3



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト345.0 生産19業種中8位）
26年の生産は86.2で、前年比40.6%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、固定コンデンサは低下したが、
トランジスタ、混成集積回路などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト379.4 出荷19業種中8位）
26年の出荷は124.6で、同48.0%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、固定コンデンサは低下したが、
トランジスタ、計数回路などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト118.5 在庫19業種中16位）
26年の在庫は246.3で、同21.6%減と2年ぶりの低下となった。
これは、トランジスタなどは上昇したが、
線形回路が低下したことによる。

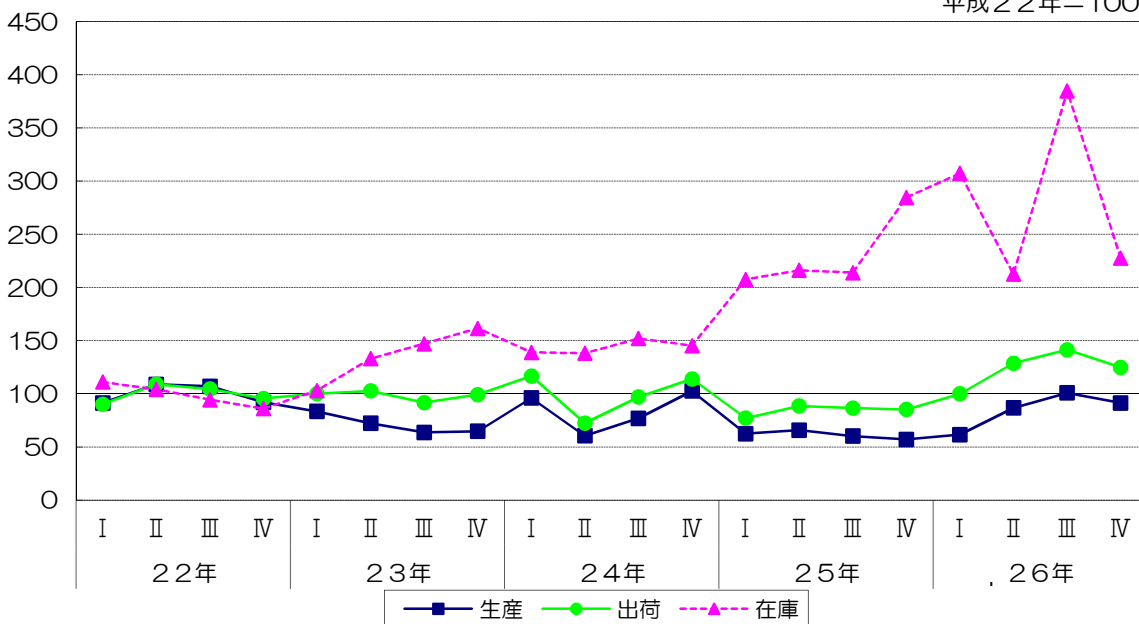
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	26年			
						I	II	III	IV
生産	100.0	70.7	84.4	61.3	86.2	61.5	86.6	100.8	91.4
前期(年)比	9.6	▲29.3	19.4	▲27.4	40.6	7.9	40.8	16.4	▲9.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲10.7	35.8	77.9	60.8
出荷	100.0	98.3	101.1	84.2	124.6	99.9	128.7	141.4	124.8
前期(年)比	14.9	▲1.7	2.8	▲16.7	48.0	17.4	28.8	9.9	▲11.7
前年同期比	-	-	-	-	-	19.6	49.9	75.7	44.3
在庫	81.6	155.0	139.9	314.3	246.3	307.5	212.6	384.8	227.6
前期(年)比	▲26.2	90.0	▲9.7	124.7	▲21.6	8.0	▲30.9	81.0	▲40.9
前年同期比	-	-	-	-	-	49.5	▲2.3	87.3	▲21.6

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(5) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト3112.3 生産19業種中1位）
26年の生産は115.9で、前年比3.1%減と2年連続の低下となった。
これは、鋼船、鋼船修理は上昇したが、
四輪自動車などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2946.4 出荷19業種中1位）
26年の出荷は117.1で、同3.1%減と2年連続の低下となった。
これは、鋼船、駆動伝導及び操縦装置部品は上昇したが、
四輪自動車などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト440.5 在庫19業種中8位）
26年の在庫は441.9で、同1.9%減と5年ぶりの低下となった。
これは、四輪自動車などが低下したことによる。

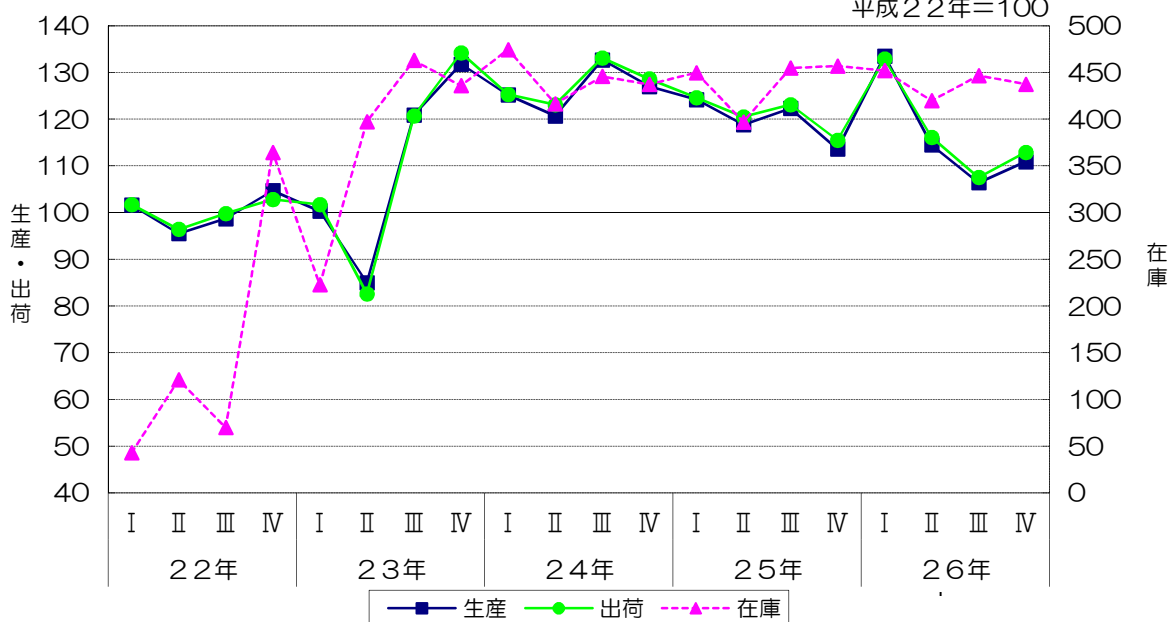
輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	季節調整済指数			
						I	II	III	IV
生産	100.0	109.7	126.7	119.6	115.9	133.5	114.5	106.4	110.9
前期(年)比	41.2	9.7	15.5	▲5.6	▲3.1	17.5	▲14.2	▲7.1	4.2
前年同期比	-	-	-	-	-	10.8	▲3.5	▲14.5	▲3.7
出荷	100.0	110.2	127.9	120.8	117.1	132.9	116.1	107.5	112.9
前期(年)比	40.4	10.2	16.1	▲5.6	▲3.1	15.1	▲12.6	▲7.4	5.0
前年同期比	-	-	-	-	-	10.8	▲3.6	▲14.7	▲3.7
在庫	351.2	424.5	427.1	450.4	441.9	452.0	419.7	446.6	437.5
前期(年)比	754.5	20.9	0.6	5.5	▲1.9	▲1.1	▲7.1	6.4	▲2.0
前年同期比	-	-	-	-	-	2.2	2.8	▲0.7	▲1.9

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(6) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト381.9 生産19業種中7位）
26年の生産は108.1で、前年比3.0%減と2年ぶりの低下となった。
これは、耐火れんが、プレストレストコンクリート製品などは上昇したが、
ほうろう鉄器などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト427.9 出荷19業種中7位）
26年の出荷は104.2で、同5.3%減と5年ぶりの低下となった。
これは、耐火れんが、せっこうボードは上昇したが、
ほうろう鉄器や衛生用陶磁器などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト807.9 在庫19業種中5位）
26年の在庫は34.9で、同8.7%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、遠心力鉄筋コンクリート製品、せっこうボードなどは低下したが、
道路用コンクリート製品、セメントなどが上昇したことによる。

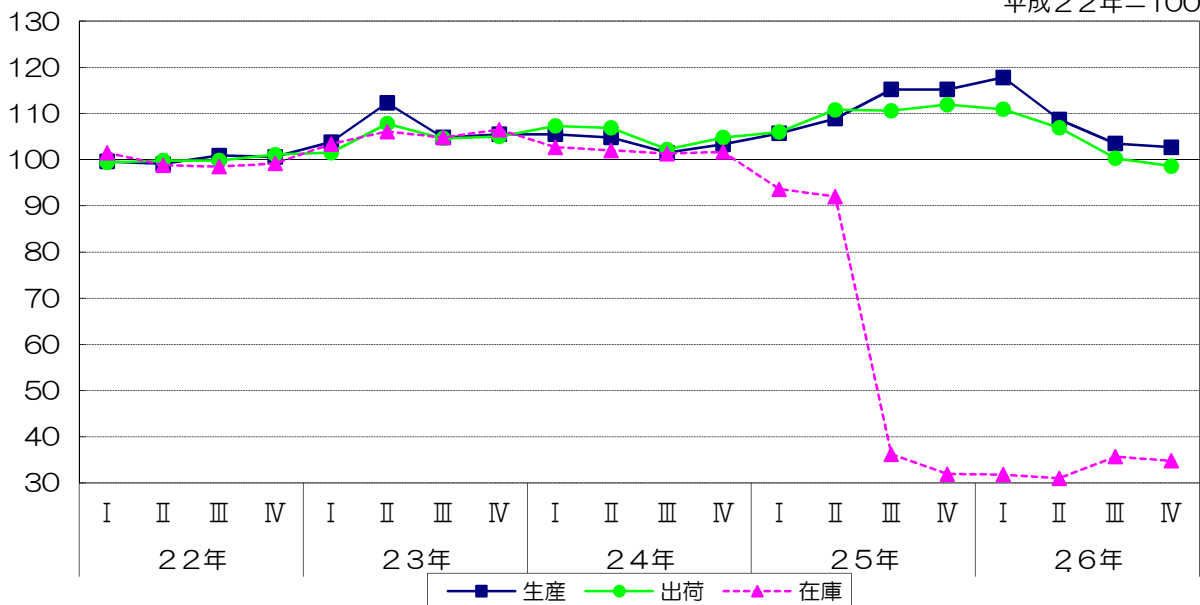
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	26年			
						I	II	III	IV
生産	100.0	106.5	104.0	111.4	108.1	117.8	108.7	103.5	102.7
前期(年)比	4.3	6.5	▲2.3	7.1	▲3.0	2.3	▲7.7	▲4.8	▲0.8
前年同期比	-	-	-	-	-	12.3	▲0.5	▲10.7	▲10.9
出荷	100.0	104.6	105.3	110.0	104.2	110.9	106.9	100.3	98.6
前期(年)比	0.6	4.6	0.7	4.5	▲5.3	▲0.9	▲3.6	▲6.2	▲1.7
前年同期比	-	-	-	-	-	5.0	▲3.6	▲9.8	▲11.7
在庫	100.5	108.0	103.2	32.1	34.9	31.8	31.0	35.7	34.8
前期(年)比	▲4.0	7.5	▲4.4	▲68.9	8.7	▲0.3	▲2.5	15.2	▲2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲65.6	▲64.9	1.3	8.7

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト631.9 生産19業種中5位）
26年の生産は98.7で、前年比2.9%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、ポリカーボネート、ジフェニルメタンジイソシアネートなどは低下したが、ビスフェノールA、医薬品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト535.1 出荷19業種中5位）
26年の出荷は100.9で、同0.6%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、ポリカーボネート、複合肥料などは低下したが、医薬品、ビスフェノールAなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1337.6 在庫19業種中3位）
26年の在庫は98.9で、同12.1%増と3年ぶりの上昇となった。
これは、カーボンブラック、触媒などは低下したが、ポリカーボネート、ビスフェノールAなどが上昇したことによる。

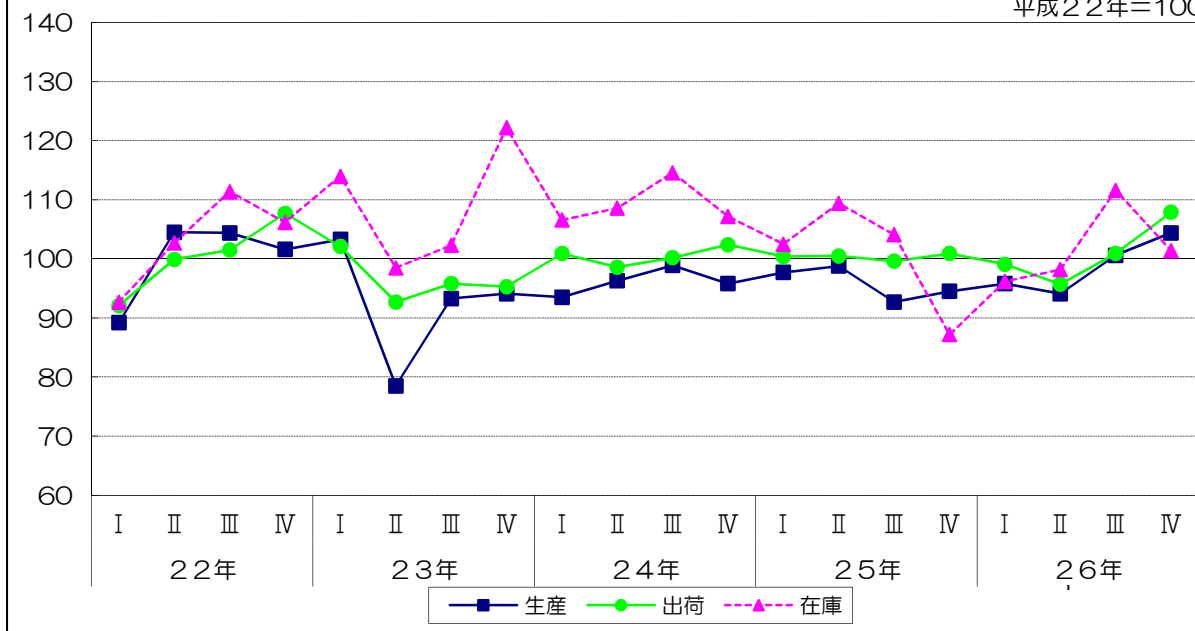
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	100.0	92.4	96.2	95.9	98.7	95.8	94.1	100.6	104.4
前期(年)比	32.6	▲7.6	4.1	▲0.3	2.9	1.4	▲1.8	6.9	3.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.0	▲6.1	9.0	10.4
出荷	100.0	96.3	100.8	100.3	100.9	99.1	95.7	100.9	107.9
前期(年)比	17.4	▲3.7	4.7	▲0.5	0.6	▲1.8	▲3.4	5.4	6.9
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.9	▲6.8	0.2	9.7
在庫	107.4	124.3	109.4	88.2	98.9	96.2	98.2	111.6	101.4
前期(年)比	27.7	15.7	▲12.0	▲19.4	12.1	10.3	2.1	13.6	▲9.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲7.3	▲11.3	11.6	12.1

化学工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1723.2 生産19業種中2位）
26年の生産は89.5で、前年比7.3%減と2年連続の低下となった。
これは、小麦粉、のりなどは上昇したが、
枝肉、固型カレーなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1856.0 出荷19業種中2位）
26年の出荷は88.6で、同9.5%減と2年連続の低下となった。
これは、小麦粉、ビールなどは上昇したが、
枝肉、固型カレーなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1586.4 在庫19業種中2位）
26年の在庫は74.0で横ばいとなった。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	22年	23年	24年	25年	26年	四半期			
						I	II	III	IV
生産	1000	98.3	101.2	96.5	89.5	91.3	87.9	88.9	90.3
前期(年)比	▲0.6	▲1.7	3.0	▲4.6	▲7.3	▲1.4	▲3.7	1.1	1.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.6	▲10.2	▲8.5	▲2.6
出荷	1000	97.0	105.4	97.9	88.6	90.4	85.1	88.8	90.1
前期(年)比	▲0.3	▲3.0	8.7	▲7.1	▲9.5	▲1.3	▲5.9	4.3	1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲11.1	▲15.2	▲10.3	▲1.1
在庫	90.5	74.6	75.6	74.0	74.0	71.4	85.3	81.4	81.3
前期(年)比	▲3.0	▲17.6	1.3	▲2.1	0.0	▲10.5	19.5	▲4.6	▲0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲13.3	7.3	▲2.2	0.0

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

平成22年=100

